

## 第2章 教育行政

### 第1節 教育委員会

#### 1 教育委員会

令和2年10月19日付けで大村雅恵氏が蜂須賀禮子委員の後任として、成澤勝蔵氏が岩本光正委員の後任として教育委員に任命された。

また、同日付けで教育長職務代理者に浅川なおみ委員が指名された。

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
教育長	鈴木 淳一	平成31年 4月1日 (2期目)		福島市
委員 教育長職務代理者 (R2.10.19～)	浅川 なおみ	平成31年 4月1日 (2期目)	ピアノ 教室 主宰	白河市
委員	成澤 勝蔵	令和2年 10月19日	自営業	会津若松市
委員	吉津 健三	令和元年 12月27日	弁護士	郡山市
委員	正木 好男	平成29年 12月24日	会社 顧問	いわき市
委員	大村 雅恵	令和2年 10月19日	代表 取締役 社長	福島市
委員 教育長職務代理者 (R1.12.27 ～R2.10.18)	蜂須賀 禮子	平成28年 10月19日 (2期目) ※令和2年10 月18日まで	生花 販売	大熊町
委員	岩本 光正	平成28年 10月19日 ※令和2年10 月18日まで	会社 取締役	会津美里町

#### 2 審議事項

##### 4月定例会

開催取り止め

##### 5月定例会(R2.5.22)

###### ○ 審議事項

- (1) 福島県社会教育委員の任命について
- (2) 福島県いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
- (3) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (4) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (5) 教育長臨時代理による処理の承認について

- (6) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (7) 教育長臨時代理による処理の承認について

###### ○ 報告事項

- (1) 令和3年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
- (2) 訓告処分等について

##### 6月定例会(R2.6.19)

###### ○ 審議事項

- (1) 令和2年度6月補正予算案（教育委員会関係部分）について
- (2) 工事請負契約案について
- (3) 工事請負契約の一部変更案について
- (4) 令和3年度使用教科用図書調査研究資料について
- (5) 令和2年度市町村公立学校長の人事について
- (6) 教育職員免許状の取上げについて
- (7) 教職員の懲戒処分に関する基準について

###### ○ 報告事項

- (1) 令和3年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の変更について
- (2) 訓告処分等について

##### 7月定例会(R2.7.10)

###### ○ 審議事項

- (1) 教職員の懲戒処分について

###### ○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

##### 8月定例会(R2.8.21)

###### ○ 審議事項

- (1) 令和元年度福島県教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価結果について
- (2) 令和3年度福島県立中学校入学者選抜について
- (3) 令和3年度福島県立高等学校入学者選抜について
- (4) 令和3年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
- (5) 令和3年度使用県立中学校の教科用図書の採択について
- (6) 令和3年度使用県立特別支援学校小学部・中学部の教科用図書の採択について
- (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (8) 教職員の懲戒処分について
- (9) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (10) 教科用図書採択地区を設定した件の一部改正について

###### ○ 報告事項

- (1) 令和3年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の変更について
- (2) 訓告処分等について

### 9月定例会(R2.9.14)

- 審議事項
  - (1) 福島県立美術館運営協議会委員の任免について
  - (2) 令和2年度福島県指定重要文化財の指定に係る諮問について
  - (3) 令和2年度9月補正予算案（教育委員会関係部分）について
  - (4) 工事請負契約案について
  - (5) 工事請負契約案について
  - (6) 令和2年度教育・文化関係表彰について
  - (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
  - (8) 令和3年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び令和3年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用予定者数について
- 報告事項
  - (1) 訓告処分等について

### 10月定例会(R2.10.16)

- 審議事項
  - (1) 令和3年度福島県立学校生徒募集定員について
  - (2) 教職員の懲戒処分について
  - (3) 教職員の懲戒処分について
  - (4) 令和3年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について
  - (5) 令和3年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
  - (6) 令和2年度教育・文化関係表彰について
  - (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
  - (8) 処分取消請求訴訟について
- 報告事項
  - (1) 県立学校のGIGAスクール構想に係る補助金の申請状況について
  - (2) 訓告処分等について

### 11月定例会(R2.11.27)

- 審議事項
  - (1) 福島県教育委員会における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則について
  - (2) 令和2年度12月補正予算案（教育委員会関係部分）について
  - (3) 公の施設の指定管理者の指定案について
  - (4) 教育職員免許状の取上げについて
  - (5) 令和2年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞の受賞者について
  - (6) 令和2年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の受賞者について
- 報告事項
  - (1) 訓告処分等について

### 12月定例会(R2.12.25)

- 審議事項
  - (1) 福島県教育委員会に係る福島県行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例施行規則の一部を改正する規則について
  - (2) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
  - (3) 「令和3年度福島県立高等学校入学者選抜における基本方針」の新型コロナウイルス感染症に係る特例措置の改定について
  - (4) 福島県立美術館運営協議会委員の任命について
  - (5) 教職員の懲戒処分について
  - (6) 教職員の懲戒処分について
  - (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
  - (8) 退職手当の支給制限について
- 報告事項
  - (1) 訓告処分等について
- 協議事項
  - (1) 県立高等学校改革計画における令和4年度統合校について

### 1月定例会(R3.1.22)

- 審議事項
  - (1) 令和3年度福島県公立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
  - (2) 令和3年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
  - (3) 令和2年度教育・文化関係表彰について
- 報告事項
  - (1) 令和3年度人事異動（教員系）について
  - (2) 訓告処分等について

### 2月定例会(R3.2.5)

- 審議事項
  - (1) 福島県立学校に勤務する教育職員が業務を行う時間の上限に関する規則について
  - (2) 福島県自然の家条例の一部を改正する条例の福島県会津自然の家に係る施行期日を定める規則について
  - (3) 福島県自然の家条例施行規則を廃止する規則について
  - (4) 福島県郡山自然の家及び福島県いわき海浜自然の家に係る福島県自然の家条例施行規則の一部を改正する規則について
  - (5) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
  - (6) 福島県立高等学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について
  - (7) 令和3年度当初予算案（教育委員会関係部分）について
  - (8) 福島県立高等学校条例の一部を改正する条例案について
  - (9) 福島県教育関係職員定数条例等の一部を改正する条例案について
  - (10) 工事請負契約の一部変更案について

- 報告事項
  - (1) 教職員多忙化解消アクションプランについて
  - (2) 訓告処分等について

- 協議事項
  - (1) 令和3年度人事異動（教員系）について

### 臨時会 (R3. 2. 25)

- 審議事項
  - (1) 教育長臨時代理による処理の承認について
  - (2) 令和3年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長（教員系）の人事について
  - (3) 令和3年度市町村公立学校長の人事について
  - (4) 令和3年度県立学校長の人事について
- 報告事項
  - (1) 令和3年度教育庁及び教育機関の主要職員（教員系）の人事について
  - (2) 令和3年度市町村公立学校副校長及び教頭の人事について
  - (3) 令和3年度県立学校副校長及び教頭の人事について
  - (4) 令和4年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について

### 3月定例会 (R3. 3. 22)

- 審議事項
  - (1) 頑張る学校応援プランについて
  - (2) 福島県指定重要文化財の指定について
  - (3) 福島県教育委員会が管理する公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する規則等の一部を改正する規則について
  - (4) 福島県教育関係職員倫理規則の一部を改正する規則について
  - (5) 福島県水産高等学校練習船設置規則の一部を改正する規則について
  - (6) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則について
  - (7) 福島県自然の家組織規則を廃止する規則について
  - (8) 福島県立図書館利用規則の一部を改正する規則について
  - (9) 博物館法施行細則の一部を改正する規則について
  - (10) 教育職員の免許状に関する規則の一部を改正する規則について
  - (11) 福島県立博物館運営協議会委員の任命について
  - (12) 教職員の懲戒処分について
  - (13) 教職員の懲戒処分について
  - (14) 教職員の懲戒処分について
  - (15) 福島県文化財保護審議会委員の委嘱について
  - (16) 教育長臨時代理による処理の承認について
  - (17) 教科用図書選定審議会委員の任命について
  - (18) 令和3年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長の人事について

- (19) 令和3年度市町村公立学校長の人事について
- (20) 令和3年度県立学校長の人事について
- (21) 令和2年度教育・文化関係表彰について

- 報告事項
  - (1) 令和3年度教育庁及び教育機関の職員の人事について
  - (2) 令和3年度市町村公立学校教職員の人事について
  - (3) 令和3年度県立学校教職員の人事について
  - (4) 訓告処分等について

## 第2節 教育庁組織

政策監 本田 伸雄  
 教育次長（業務） 鈴木 芳人  
 県立高校改革監 白石 孝之  
 教育庁参事（人事・企画） 上楳 治男

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長 庁主幹兼副課長 庁企画主幹兼副課長	高瀬 智美 工藤 宇裕 田母神 賢一
財務課	課長 主幹兼副課長	青木 浩司 長島 和則
施設財産室	室長 主幹	渡邊 昌明 佐藤 信夫
職員課	課長 主幹兼副課長 主幹	奥寺 洋暁 原田 大輔 菅野 与彦
福利課	課長 主幹兼副課長	穂積 由勝 高橋 篤
社会教育課	課長 主幹兼副課長 主幹	鈴木 基之 新井 里美 大和田 康夫
文化財課	課長	本田 智枝
義務教育課	課長 主幹兼副課長 主幹 主幹	福地 裕之 情野 貴之 鈴木 正和 西牧 泰彦
高校教育課	課長 主幹兼副課長 主幹 主幹	丹野 純一 武藤 正久 近東 昇 箱崎 兼一
県立高校改革室	室長	小林 寿宣
特別支援教育課	課長 主幹兼副課長 主幹	郷家 俊哉 赤坂 剛 柳沼 徹
健康教育課	課長 主幹兼副課長 主幹	佐藤 文男 坂詰 康 佐藤 隆宏

### 教育事務所

教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長 長谷川浩文 次長（総） 佐藤裕一郎 次長（業） 丹治 光夫	総務社会教育（兼） 佐藤裕一郎 学校教育（兼） 丹治 光夫
県中	所長 石幡 良子 次長（総） 柳沼 正一 次長（業） 富岡 信	総務社会教育（兼） 柳沼 正一 学校教育（兼） 富岡 信
県南	所長 板橋 竜男 次長（総） 固山 博之 次長（業） 菊池 淳一	総務社会教育（兼） 固山 博之 学校教育（兼） 菊池 淳一
会津	所長 横山 修 次長（総） 曳地 敏治 次長（業） 渡部 朋史	総務社会教育（兼） 曳地 敏治 学校教育（兼） 渡部 朋史
南会津	所長 塙 広治 次長（総） 鈴木 康德 次長（業） 栗木 孝直	総務社会教育（兼） 鈴木 康德 学校教育（兼） 栗木 孝直
相双	所長 佐藤 由弘 次長（総） 佐藤 繁光 次長（業） 武口 隆行	総務社会教育（兼） 佐藤 繁光 学校教育（兼） 武口 隆行
いわき	所長 塚本 英樹 次長（総） 山口 聖一 次長（業） 大内 克之	総務社会教育（兼） 山口 聖一 学校教育（兼） 大内 克之

### 所管教育機関等

教育機関名	所館長名	次長等名
福島県教育センター	渡辺 惣吾	次長 菅野 昭人 総務管理部長（兼） 菅野 昭人 研究・研修部長 猪俣 一教
福島県特別支援教育センター	杉山 裕恵	主幹兼事務長 長沢 智司 企画事業部長 熊谷 賀久
福島県立図書館	齋野 和則	副館長 島田 淳
福島県立美術館	長根由里子	副館長 荒木 康子
福島県立博物館	鈴木 晶	副館長 川延 安直
福島県会津自然の家	高橋 伸明	主幹兼次長 加藤 竜

## 第3節 企画調整

### 1 教職員現職教育計画の策定

#### (1) 福島県公立学校教職員現職教育計画

教職員現職教育担当者会議を開催し、令和3年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について、策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

#### (2) 策定計画

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	2.6.11	自治会館 8階801 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度教職員現職教育計画作成日程について</li> <li>○令和3年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について</li> <li>○令和3年度教職員現職教育計画作成方針を踏まえ、関係課・所において、予算化等を見通した研修の改善及び新設、変更、廃止の案の検討について</li> </ul>
第2回	2.9.4	自治会館 8階801 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回会議の確認事項について</li> <li>○各課・所における予算化等を見通した具体的計画案について</li> <li>○令和3年度教職員現職教育計画修正案作成の関係課・所への依頼について</li> </ul>

#### (3) 構成員

教育総務課

企画主幹兼副課長、主任主査、管理主事

社会教育課

主幹、主任社会教育主事、社会教育主事

義務教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

健康教育課

主幹、主任指導主事、指導主事

特別支援教育課

主幹兼副課長、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

高校教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

教育センター

研究・研修部長、主任指導主事、指導主事

特別支援教育センター

企画事業部長、主任指導主事

## 2 調整事務

### (1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

### (2) 知事部局との調整事務

- ア 総務部
  - 行財政改革推進本部、総合教育会議、風評・風化プロジェクトチーム、内部統制推進本部会議
- イ 危機管理部
  - 安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議
- ウ 企画調整部
  - 県総合計画・復興計画関係、施策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、電子社会推進本部会議、政策調整会議、新生ふくしま復興推進本部会議、地産地消推進会議、地域創生・人口減少対策本部会議、復興対策推進プロジェクトチーム
- エ 生活環境部
  - ユニバーサルデザイン推進本部会議、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、野生鳥獣被害対策庁内連絡会議、男女共同参画推進本部会議
- オ 保健福祉部
  - 高齢社会対策推進本部会議青少年健全育成推進本部
- カ 商工労働部
  - 商業まちづくり推進調整会議
- キ 農林水産部
  - ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動、ふくしま植樹祭実行委員会
- ク 警察本部
  - 福島県被害者等支援連絡協議会

## 第4節 広報・広聴

### 1 教育委員会だより

#### (1) 編集方針

教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。

#### (2) 内容

県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧

#### (3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ

イ 部数 4,000部

#### (4) 配布対象

市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等

#### (5) 発行時期

4月に発行

### 2 教育年報

#### (1) 編集方針

令和元年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

#### (2) 内容

令和元年度の本県教育行政の実績

#### (3) 規格・部数

ア 規格 A4判 228ページ

イ 部数 150部

#### (4) 配布対象

市町村教育委員会、各教育関係機関

### 3 福島県の教育

#### (1) 編集方針

本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

#### (2) 内容

本県教育の実情及び教育行政の要点

#### (3) 規格・部数

ア 規格 A4判 8ページ カラー

イ 部数 950部

#### (4) 配布対象

教育機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

## 4 ふくしま教育ニュース

### (1) 編集方針

県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。7月・11月の年2回発行した。

### (2) 内容

ア 第54号(7月発行)

令和3年4月開校の統合校

県立相馬支援学校新校舎完成

ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト

ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業募集

中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

福島県文化財センター白河館(まほろん)企画展の案内

ふくしま子どもLINE相談

ダイヤルSOS等相談窓口のお知らせ

相談窓口の案内

イ 第55号(11月発行)

ふくしま創生人材育成事業

第7次福島県総合教育計画の策定

「学びの保障」ICT活用事例の紹介

ふくしま外国語教育推進リーダー

「ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト」アドバンスセミナー

特別支援学校作業技能大会

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業ワークショップ

令和3年度県立高等学校入学者選抜の案内

スクール・サポート・スタッフ

相談窓口の案内

### (3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ カラー

イ 部数 第54号 230,000部

第55号 225,000部

### (4) 配布対象

県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

## 5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教育総務課	福島県の教育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A 4	8	950	教育機関への来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、県教育庁新陣容、組織及び電話番号	1	A 4	4	4,000	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教育年報	前年度の県教育行政の実績	1	A 4	228	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふくしま教育ニュース	県教育委員会の教育行政施策、実績、事業のお知らせ等	2	A 4	4	第 54 号 230,000 第 55 号 225,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福祉課	ふくしま福祉だより	教職員の福利・厚生事業の紹介等	4	A 4	20,16 12	各 22,500	全教職員（5月、7月） （11月、2月）
社会教育課	社会教育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A 4	12	—	Web サイトに掲載
教育センター	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	160	教育関係機関等
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	8	—	Web サイトに掲載
	研究紀要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	75	1,000	学校、教育関係機関等
	リーフレット	小・中学校初任者研修メンター方式による校内研修について	1	A 4	4	2,000	学校、教育関係機関等
特別支援教育センター	リーフレット	事業内容・研修講座名等	1	A 5	4	100	来所者 Web サイトに掲載
	所報特別支援教育	センターの取組や国内外の教育動向等	1	A 4	30	180	関係機関
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	16	50	関係機関
	研究紀要	調査研究・教育研究及び長期研究員の個人研究の成果報告	1	A 4	70	100	関係機関 Web サイトに掲載
図書館	館報あづま	図書館業務の広報	1	A 4	10	500	図書館・関係機関
	福島県立図書館要覧	県立図書館の概況	1	A 4	22	—	Web サイトに掲載
	福島県郷土資料情報	郷土文献の研究情報誌	1	A 4	17	100	図書館・関係機関 Web サイトに掲載

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
美術館	県立美術館年報	前年度の事業実績	1	A 4	65	500	関係機関
	ミュージアムカレンダー	年間事業紹介	1	B 5		32,000	関係機関、来館者等
	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A 4 三折		各 11,000	関係機関、来館者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	B 5	81	600	関係機関
博物館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A 4	98	400	関係機関
	県立博物館紀要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	135	600	関係機関
	広報紙なじよな	行事予定、企画展案内、講演要旨等	6	A 2 四折	4	各 20,000	学校、関係機関
	企画展ポスター・リーフレット	企画展 3 回分・次年度企画展 1 回分	4	ポスターB 2 リーフレットA4		12,500 286,000	学校、関係機関 関係機関、来館者等
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	220×400 観音折り		45,000	関係機関、来館者等
自然の家	企画事業案内 (郡 山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Web サイトに掲載
	会津自然の家だより (会 津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Web サイトに掲載
	し お ね (い わ き)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	4	2,000	関係機関
白文化財センター 河スタ館	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A 4	34	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習	4	A 4	4	各 4,000	関係機関、利用者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	104	500	関係機関

## 6 記者発表及び資料提供(投げ込み)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
資料提供	25	12	18	28	19	17	34	29	33	35	23	43	316

## 7 教育フォーラム

### (1) タイトル

令和2年度教育フォーラム  
「高校生ワークショップ～第7次福島県総合教育計画の策定に向けて～」

### (2) 主催

福島県教育委員会

### (3) 目的

県民各層との対話を通して、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施した。

今年度は、次期福島県総合教育計画の策定（令和3年秋策定予定）を見据え、県内の高校生が本県の教育の在り方等についてオンラインによるワークショップ形式で協議し、得られた提案や意見を教育長や教育委員等に発表した。

### (4) 開催日時

令和2年12月25日（金）9:00～12:00

### (5) 会場

教育委員室（高校生等は所属校又は自宅等）  
※オンライン開催

### (6) 開催形態

グループディスカッション（3グループ編成）  
グループごとの発表・質疑応答

### (7) 各グループの発表内容

Aグループ 「僕らが願う未来の学び方」  
Bグループ 「個人を尊重できる社会へ向けて」  
Cグループ 「学校の内と外をつなぐ」

### (8) 出席者

#### ア 高校生

Aグループ 喜多方桐桜高校、安積高校御館校、葵高校、あさか開成高校  
Bグループ 相馬高校、いわき光洋高校、福島東高校、修明高校鮫川校  
Cグループ 清陵情報高校、修明高校、小名浜高校、白河第二高校

#### イ 大学生メンター

鈴木 理久（福島大学 人間発達文化学類3年）  
毛塚 猛大（福島大学 人間発達文化学類4年）  
加藤 恵美（東京学芸大学 教育学部初等教育教員養成課程社会選修4年）

#### ウ アドバイザー

長谷川 勇紀（認定特定非営利活動法人カタリバ）

#### エ ファシリテーター

青砥 和希（策定懇談会委員・一般社団法人未来の準備室理事長）

#### オ 福島県教育委員会

浅川 なおみ（県教育委員会委員）  
正木 好男（県教育委員会委員）  
吉津 健三（県教育委員会委員）  
成澤 勝蔵（県教育委員会委員）

大村 雅恵（県教育委員会委員）  
鈴木 淳一（県教育委員会教育長）  
本田 伸雄（政策監）  
鈴木 芳人（教育次長）  
白石 孝之（県立高校改革監）  
上槿 治男（教育庁参事）  
高瀬 智美（教育総務課長）  
丹野 純一（高校教育課長）

## 8 「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成15年3月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日（11月1日）及びふくしま教育週間（11月1日～7日）を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけた。なお、新型コロナウイルス感染拡大を受け、大幅な予定変更等も想定されたため、福島県教育委員会ウェブサイトへの実施計画の掲載は見合わせた。

## 9 「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクト

子どもたちの郷土愛を育み、将来の復興の担い手としての意識を喚起することを目的として、子どもたちが知事や教育長等の前で発表する機会を設けているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により中止した。

## 第5節 調査統計

令和2年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

### 1 学校統計要覧

令和2年5月1日現在で調査した「学校基本調査」（指定統計13号）の調査結果及び県独自に実施している進路状況等に関する調査結果に基づき、学校数、児童生徒数、教職員等の基本的事項や県内の中学生・高校生の進路状況等を収録した「学校統計要覧」を作成し、県教委ホームページで公開した。

### 2 地方教育費調査（一般統計）

この調査は、令和元会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連における県及び市町村（教育事務組合を含む。）から支出された経費並びに授業料等の収入実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

### 3 子供の学習費調査（一般統計）

この調査は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となり、翌年（令和3年度）に文部科学省が実施予定となった。

#### 4 進路状況等に関する調査

この調査は、中学校・高等学校生徒の進路希望及び卒業後の状況を調査し、進路指導及び高等学校の適正配置計画並びに課程・学科等の整備計画の基礎資料を得ることを目的とした県単独調査である。

### 第6節 教職員の給与

令和2年度の教職員の給与改定については、令和2年10月26日及び11月9日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料月額及び諸手当について、令和2年12月県議会及び令和3年2月県議会において、給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は、次のとおりである。

#### 1 諸手当関係

##### (1) 通勤手当（令和3年4月1日適用）

自動車等交通用具使用者の手当額が次のとおり改められた。

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動 機付きの交通用具
2km以上 4km未満	2,500円	2,000円
4km以上 6km未満	3,800円	2,000円
6km以上 8km未満	5,100円	2,600円
8km以上 10km未満	6,400円	3,200円
10km以上 12km未満	7,600円	3,800円
12km以上 14km未満	8,900円	4,500円
14km以上 16km未満	10,200円	5,100円
16km以上 18km未満	11,400円	5,700円
18km以上 20km未満	12,700円	6,400円
20km以上 22km未満	14,000円	7,000円
22km以上 24km未満	15,300円	7,700円
24km以上 26km未満	16,500円	8,300円
26km以上 28km未満	17,800円	8,900円
28km以上 30km未満	19,100円	9,600円
30km以上 32km未満	20,400円	10,200円
32km以上 34km未満	21,600円	10,800円
34km以上 36km未満	22,900円	11,500円
36km以上 38km未満	24,200円	12,100円
38km以上 40km未満	25,400円	12,700円
40km以上 45km未満	28,200円	14,100円
45km以上 50km未満	30,800円	15,400円
50km以上 55km未満	33,400円	16,700円
55km以上 60km未満	35,800円	17,900円
60km以上 65km未満	37,600円	18,800円
65km以上 70km未満	40,500円	20,300円

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動 機付きの交通用具
70km以上 75km未満	43,300円	21,700円
75km以上 80km未満	46,200円	23,100円
80km以上 85km未満	49,100円	24,600円
85km以上 90km未満	52,000円	26,000円
90km以上 95km未満	54,900円	27,500円
95km以上	57,800円	28,900円

##### (2) 期末・勤勉手当（令和2年12月1日適用）

支給割合が次のとおり改められた。

◎一般職員

	区分	6月期	12月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.275ヶ月	1.275ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.95ヶ月	0.95ヶ月	1.90ヶ月	4.45ヶ月
改正後 (2年度)	期末手当	1.275ヶ月	1.225ヶ月	2.50ヶ月	計
	勤勉手当	0.95ヶ月	0.95ヶ月	1.90ヶ月	4.40ヶ月
(3年度)	期末手当	1.25ヶ月	1.25ヶ月	2.50ヶ月	計
	勤勉手当	0.95ヶ月	0.95ヶ月	1.90ヶ月	4.40ヶ月

◎特定幹部職員

	区分	6月期	12月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.075ヶ月	1.075ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	1.15ヶ月	1.15ヶ月	2.30ヶ月	4.45ヶ月
改正後 (2年度)	期末手当	1.075ヶ月	1.025ヶ月	2.10ヶ月	計
	勤勉手当	1.15ヶ月	1.15ヶ月	2.30ヶ月	4.40ヶ月
(3年度)	期末手当	1.05ヶ月	1.05ヶ月	2.10ヶ月	計
	勤勉手当	1.15ヶ月	1.15ヶ月	2.30ヶ月	4.40ヶ月

##### (3) 特殊勤務手当（令和3年4月1日適用）

教員特殊業務手当について、週休日等の部活動指導業務に係る手当（部活動指導手当）の支給区分及び手当額が次のとおり改められた。

（改正前）

支給区分	手当額
4時間程度	3,600円
2時間以上4時間程度未満	1,800円

（改正後）

支給区分	手当額
4時間程度（大会引率等に限る）	3,600円
3時間程度	2,700円
2時間以上3時間程度未満	1,800円

## 第7節 附属機関等

### 1 福島県社会教育委員の会議

#### 根拠法令

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条並びに福島県社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例（昭和24年福島県条例第56条）

#### 目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行ったりし、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

#### (1) 福島県社会教育委員

任期 令和2年6月20日から令和4年6月19日

区分	氏名	役職名	備考
学校教育関係者	小林 雄	小学校長会（大玉村立玉井小学校長）	
	土屋 好二	中学校長会（白河市立白河南中学校長）	
	味原 正美	高等学校長協会（福島県立会津学鳳高等学校長）	
社会教育関係団体の関係者	鈴木 圭子	福島県公民館連絡協議会会長	
	中島 功	福島県市町村社会教育委員連絡協議会顧問	
	田代 悦子	福島県PTA連合会母親代表理事	
	齋藤 七重	福島県婦人団体連合会副会長・理事	
	山岸 敦子	ガールスカウト福島県連盟長	
	齋藤 雄一郎	福島県商工会連合会	副議長
	佐藤 靖弘	一般社団法人福島県総合型スポーツクラブ連絡協議会理事長	
家庭教育関係者	星 尚子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事	
学識関係者	木暮 照正	福島大学地域創造支援センター教授	議長
	前川 直哉	福島大学教育推進機構高等教育企画室特任准教授	
	本多 環	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授	
公募	千葉 登美子	NPO法人ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会	
	須藤 基子	鏡石町教育委員会学校教育相談員	

#### (2) 定例会の開催

##### ア 第1回定例会

(ア) 日時 令和2年10月28日(水)

(イ) 場所 自治会館大会議室

(ウ) 内容

##### a 報告事項

令和2年度社会教育に関する主要施策・事業及び進捗状況について

##### b 審議事項

本県における社会教育推進のあり方について

##### イ 第2回定例会

(ア) 日時 令和3年2月26日(金) ※リモート会議

(イ) 内容

##### a 報告事項

令和2年度社会教育関係事業報告について

令和3年度社会教育関係主要施策・事業（案）について

##### b 審議事項

「コロナ禍、原発事故、水害、少子化・人口減等現代的課題を乗り越える社会教育の在り方」

## 2 福島県文化財保護審議会

### (1) 福島県文化財保護審議会委員

任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日

氏名	所属等	担当分野	備考
阿部 俊夫	(元)郡山女子大学短期大学部准教授・地方史研究協議会	古文書・歴史資料	
荒木 志伸	山形大学基盤教育院准教授・東北史学会・日本考古学協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
伊藤 喜良	福島大学名誉教授・日本経済大学非常勤講師・歴史学研究会・東北史学会・日本史研究会	古文書(中世)・書跡・典籍	会長
丹野 香須美	東北福祉大学兼任講師・いわき市文化財保護審議会委員・広野町文化財保護審議会委員・日本民俗学会・日本社会科教育学会・福島県民俗学会	有・無形民俗文化財	
狩野 勝重	(元)日本大学教授・工学博士・日本建築学会・伝統建築文化推進協議会・文化財景観保全調査室(個人事務所)	建造物・伝統的建造物群	
佐藤 琴	山形大学学術研究院准教授・美術史学会・国際浮世絵学会	絵画	
永広 昌之	東北大学総合学術博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会・地学団体研究会・日本博物科学会	天然記念物(地質鉱物・古生物)	
鈴木 俊行	公益財団法人福島県都市公園・緑化協会福島空港公園事務所長・樹木医学会・日本造園学会・日本桜学会	天然記念物(植物)	副会長
高橋 あけみ	仙台市博物館副館長・美術史学会・漆工史学会・茶の湯文化学会	工芸品・染織	
竹原 明秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物(植生)	
辻 秀人	東北学院大学教授・日本考古学協会・福島県考古学会・全日本博物館学会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
塘 忠顕	福島大学教授・日本動物学会・日本昆虫学会・日本発生生物学会	天然記念物(動物)	
藤井 英二郎	千葉大学名誉教授・日本庭園学会・日本造園学会	史跡・名勝(庭園)	
守谷 早苗	東北史学会・国史談話会・福島県史学会	歴史資料	
若林 繁	(元)東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

### (2) 会議

#### ア 第1回審議会

- (ア) 期日 令和2年10月15日(木)
- (イ) 場所 福島県本庁舎4階 第401会議室
- (ウ) 内容
  - a 福島県指定文化財候補諮問案件等の審議
  - b 報告事項

#### イ 第2回審議会

- (ア) 期日 令和3年2月8日(月)
- (イ) 場所 福島県西庁舎3階 教育委員室
- (ウ) 内容
  - a 福島県指定文化財候補諮問案件等の審議
  - b 新たな県指定文化財の候補について

## 第8節 市町村教育委員会

### 1 概要

本県の市町村教育委員会数は、令和2年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

### 2 組織

令和2年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	職務代理人	教 育 長			
県北(8)			会津(13)		
福島市	佐藤 玲子	古関 明善	会津若松市	林 健幸	寺木 誠伸
伊達郡川俣町	高橋 友憲	佐久間裕晴	耶麻郡磐梯町	宮森 優治	田中 靖則
伊達市	高野 保夫	菅野 善昌	耶麻郡猪苗代町	涌井 靖	宇南山忠明
伊達郡桑折町	柴田 宣広	会田 智康	喜多方市	高橋 明子	大場 健哉
伊達郡国見町	高橋 幸子	岡崎 忠昭	耶麻郡北塩原村	斎藤 弘幸	鈴木 力雄
二本松市	佐藤 英之	丹野 学	耶麻郡西会津町	平野マチ子	江添 信城
安達郡大玉村	伊藤 忠和	佐藤 吉郎	河沼郡会津坂下町	田崎ヒロ子	鈴木 茂雄
本宮市	谷 明子	青田 誠	河沼郡湯川村	伊藤 幸喜	五十嵐長孝
県中(12)			河沼郡柳津町	鈴木 礼	神田 順一
郡山市	阿部 亜巳	小野 義明	大沼郡会津美里町	小関れい子	新田 銀一
須賀川市	阿部 昭光	森合 義衛	大沼郡三島町	阿部 和彦	佐藤 孝信
岩瀬郡鏡石町	力丸 次雄	渡部 修一	大沼郡金山町	山口 京子	滝沢 敬樹
岩瀬郡天栄村	小針 克彦	久保 直紀	大沼郡昭和村	齊藤加津代	安藤 哲朗
石川郡石川町	草野 文明	小玉 陽彦	南会津(5)		
石川郡玉川村	石井 隆士	鈴木 文雄	南会津郡南会津町	渡部 謙一	星 英雄
石川郡平田村	三本松久美子	有賀 真道	南会津郡下郷町	白石 光史	星 敏恵
石川郡浅川町	富永 善弘	真田 秀男	南会津郡檜枝岐村	星 茂俊	(空席)
石川郡古殿町	矢内 忠徳	渡邊 宏文	南会津郡只見町	菅家 貞子	渡部 早苗
田村市	船田 隆典	飯村 新市	南会津郡地方広域市町村圏組合	星 敏恵	星 英雄
田村郡三春町	渡辺 勉	添田 直彦	相双(12)		
田村郡小野町	榊原 貞治	西牧 裕司	相馬郡新地町	高崎 義典	佐々木孝司
県南(9)			相馬市	宗形 明子	福地 憲司
白河市	金子 英昭	芳賀 祐司	南相馬市	大石 力彌	大和田博行
西白河郡西郷村	勝又千賀子	鈴木 且雪	相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	遠藤 哲
西白河郡中島村	長田 富雄	面川 三雄	双葉郡浪江町	今野 秀則	笠井 淳一
西白河郡矢吹町	水戸 勘十	鈴木 健生	双葉郡葛尾村	東海林幸敏	小野田敏之
西白河郡泉崎村	北澤三知子	鈴木 一正	双葉郡双葉町	山本真理子	舘下 明夫
東白川郡棚倉町	松本 一夫	松本 市郎	双葉郡大熊町	阿部 裕美	木村 政文
東白川郡塙町	大縄 剛	秦 公男	双葉郡富岡町	鈴木 文子	岩崎 秀一
東白川郡矢祭町	富永美智子	片野 宗和	双葉郡川内村	秋元 優子	秋元 正
東白川郡鮫川村	阿久津光市	武藤 誠	双葉郡檜葉町	宇佐神正道	青木 洋
			双葉郡広野町	渡辺 昇	根本 修行
			いわき(1)		
			いわき市	馬目 順一	吉田 尚

### 3 令和2年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

#### (1) 令和2年度福島県市町村教育委員会教育長会議

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 予定期日 令和2年4月13日(月)  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止
- ウ 予定会場 本庁舎5階 正庁
- エ 予定出席者 市町村教育委員会教育長 59名
- オ 内容  
令和2年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明  
※説明に係る資料を送付

#### (2) 令和2年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

- ア 主催 福島県市町村教育委員会連絡協議会  
福島県教育委員会
- イ 期日 令和2年11月18日(水)
- ウ 会場 中町ビル 大会議室
- エ 参加者  
令和元年11月21日以降に就任された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員22名
- オ 内容
  - 講話
    - ・演題 「教育委員に期待するもの」
    - ・講師 福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一
  - 講話
    - ・演題 「教育委員に求められる構えと職責」
    - ・講師 元福島県市町村教育委員会連絡協議会副会長 藤田 克彦
  - 講義
    - ・演題 「教育委員会の組織と運営について」
    - ・講師 福島県教育庁職員課管理主事 高橋 哲郎

## 第9節 職員団体との話合い

令和2年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話合いのうち、主なものは次のとおりである。

### 1 福島県教職員組合

#### (1) 令和2年8月3日

- ア 勤務時間の上限規制について
- イ 教職員の賃金・諸手当・労働条件の改善について
- ウ 教員採用試験について
- エ 教員の人員確保について
- オ 教職員の多忙化解消について
- カ ハラスメント対策について
- キ 特別支援教育の充実について
- ク 新型コロナウイルス感染症対策について

#### (2) 令和2年11月12日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 部活動手当について
- ウ 教員の人員確保について
- エ 学校事務の共同連携について
- オ 再任用職員の処遇改善について
- カ スクールサポートスタッフの配置拡大について
- キ 学校事務職員の研修について
- ク 教職員の多忙化解消について
- ケ 休暇制度について

#### (3) 令和2年11月19日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 公務貢献について
- ウ 部活動手当について
- エ 再任用制度について
- オ ハラスメント対策について
- カ 教職員の多忙化解消について
- キ 休暇制度について
- ク 事務職員の研修について
- ケ 勤務時間の客観的な把握について

## 2 福島県高等学校教職員組合

#### (1) 令和2年8月5日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 新型コロナウイルス感染症対策について
- ウ 再任用制度について
- エ 人事評価制度について
- オ 諸手当について
- カ 変形時間労働制の導入について
- キ 教職員の多忙化解消について

#### (2) 令和2年11月13日

- ア 教職員の多忙化解消について
- イ 再任用制度について
- ウ 部活動指導員等の外部人材の配置拡大について
- エ 施設・設備等の整備について
- オ 県立高等学校改革計画について
- カ 人事評価制度について
- キ 諸手当について

#### (3) 令和2年11月19日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 部活動手当について
- ウ 人事評価について
- エ 休暇制度について
- オ 再任用職員の任用及び処遇改善について
- カ 教職員の多忙化解消について
- キ 実習助手等による部活動指導及び引率について

### 3 福島県立高等学校教職員組合

#### (1) 令和2年8月5日

- ア 新型コロナウイルス感染症対策について
- イ 変形時間労働制の導入について
- ウ ハラスメント対策について
- エ 人事評価制度について
- オ 情報環境の整備について
- カ 教職員の多忙化解消について
- キ 人事異動について

#### (2) 令和2年11月13日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 変形労働時間制について
- ウ 宿日直手当について
- エ 部活動指導員について
- オ 会計年度任用職員の導入等について
- カ 人事異動について
- キ 勤務時間の客観的な把握について
- ク 講師希望者の提出書類について
- ケ 教職員の多忙化解消について

#### (3) 令和2年11月20日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 人事異動について
- ウ 県立高等学校改革計画について
- エ 教職員の多忙化解消について
- オ 勤務時間の管理について
- カ 週休日の業務について

- キ 部活動手当について
- ク ハラスメント対応について

### 4 福島県学校事務労働組合

#### (1) 令和2年8月3日

- ア 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- イ 公務貢献について
- ウ 在職者調整の救済措置について
- エ 事務強化加配等について
- オ 再任用職員の任用等について
- カ 学校事務職員の採用制度について
- キ 変形時間労働制の導入について

#### (2) 令和2年11月12日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- ウ 公務貢献について
- エ 再任用職員の任用等について
- オ 任期付職員の導入について
- カ 給食費の公会計化について

#### (3) 令和2年11月19日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- ウ 新型コロナウイルス感染症対策について
- エ 再任用職員の任用等について
- オ 事務強化加配等について、職員の配置について
- カ 旅費の支給について

## 第10節 審査請求事件及び訴訟事件

### 1 審査請求事件

令和3年3月31日現在、審査請求事件として審理中のものは2件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
退職手当支給制限処分取消請求事件	平 29. 12. 19	平 29. 10. 20 付け退職手当支給制限処分についてその取消しを請求	元公立学校 教員	審理中
職手当支給制限処分取消請求事件	令 2. 2. 26	令 12. 6 付け退職手当支給制限処分についてその取消しを請求	元公立学校 教員	審理中

### 2 訴訟事件

令和3年3月31日現在、訴訟事件として係属中のものは1件、令和2年度中に判決等があったものは1件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
安全な場所で教育を受ける権利の確認等請求事件	平 26. 8. 29 平 27. 1. 14 平 28. 5. 10 令 3. 3. 15	安全な場所で教育を受けることができる権利の確認等	県内住民 多数	係属中
懲戒免職処分及び退職手当支給制限処分取消請求事件	令元. 8. 14 令 2. 10. 23 令 3. 1. 15	平 29. 10. 20 付け懲戒免職処分及び退職手当支給制限処分についてその取消しを請求	公立学校 教員	令 3. 3. 24 裁決 (控訴棄却)

## 第11節 公益法人等の指導等並びに公益信託の状況

### 1 公益法人等

令和3年3月31日現在、県教育委員会の所管に属する公益法人等は50法人である。

各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、収支予算書等の提出を求めた。

法人ごとの内訳は下表のとおり。

法人種別	所管する法人数	令和2年度に公益法人又は一般法人に移行した法人数
公益財団法人	26	0
公益社団法人	2	0
一般財団法人	18	0
一般社団法人	3	0
特例民法法人	1	—
計	50	0

### 2 公益信託

令和3年3月31日現在、県教育委員会の所管に属する公益信託は3件である。

なお、令和2年度新たに引き受けを許可した公益信託はない。

## 第12節 表彰及び叙勲

令和2年度教育・文化関係表彰式は、11月2日(火)とうほう・みんなの文化センター、令和3年2月3日(水)杉妻会館において、それぞれ行われる予定であったが、どちらも新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は新型コロナウイルス感染拡大のため中止(代替:11月11日(水)、福島県西庁舎9階教育委員室で実施)、また、教育者表彰式は12月3日(木)、ニッショーホールにおいて行われた。

### 1 教育・文化関係表彰

#### (1) 地方教育行政功労者(5名)

(前)伊達市教育委員会委員	太田 康一
(前)二本松市教育委員会委員	奥平 紀文
郡山市教育委員会委員	今泉 玲子
(前)相馬市教育委員会教育長	堀川 利夫
南相馬市教育委員会委員	大石 力彌

#### (2) 学校教育功労者(15名)

福島市立福島第四中学校長	佐藤 晃
郡山市立郡山第三中学校長	内田 恒一
石川郡石川町立石川中学校長	塩田 正信
田村市立船引小学校長	有賀 仁一
白河市立白河第一小学校長	菊池 篤志
白河市立白河第三小学校長	小玉 昭男
会津若松市立鶴城小学校長	唐司 和彦
相馬市立中村第一小学校長	午來 勝頭
いわき市立平第一小学校長	水野 達雄
いわき市立平第一中学校長	西内 英理
福島県立福島高等学校長	竹田 真二
福島県立福島明成高等学校長	大和田範雄
福島県立安積高等学校長	小島 稔
福島県立会津高等学校長	廣瀬 敬彦
福島県立聴覚支援学校長	小檜山宗浩

#### (3) 社会教育関係

ア 社会教育功労者(3名)	
福島県家庭教育インストラクター理事	星 尚子
ボーイスカウト福島連盟名誉会議議員	長谷川哲意
会津若松市社会教育委員	小野 修
イ 功績顕著な団体・施設(3団体・3施設)	
(社会教育団体)	
田村市立都路小学校父母と先生の会	
喜多市立堂島小学校父母と教師の会	
南会津町立荒海中学校父母と教師の会	
(社会教育施設)	
福島市中央学習センター	
郡山市立薫地域公民館	
郡山市立名倉地域公民館	

#### (4) 文化財保護関係

ア 文化財保護功労者(2名)	
福島県文化財保護審議会委員	鈴木 俊行
(元)いわき市文化財保護審議会会長	湯澤 陽一

#### (5) 学校体育・学校保健関係

ア 学校保健功労者(3名)	
(元)いわき市立平第三小学校学校医	児山 孝
いわき市立植田小学校学校薬剤師	三瓶 几典
福島県立福島北高等学校学校薬剤師	石井 恵子

#### (6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(2名)	
田村市立船引南小学校長	先崎 力男
耶麻郡西会津町立西会津中学校長	五十嵐正彦
イ 功績顕著な団体(1団体)	
耶麻郡猪苗代町立緑小学校	

(7) 特別支援教育関係

- ア 特別支援教育功労者(1名)  
もとみや整形外科クリニック院長 武田浩一郎

(8) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	29	21	7		57
教頭、副校長	35	24	13		72
教員等	319	216	188		723
計	383	261	208	24	876

(9) 特別功績者

- ア 児童・生徒(団体)の部(6団体)
  - 伊達市立伊達小学校吹奏楽部
  - 西郷村立小田倉小学校吹奏楽部
  - 郡山市立郡山第二中学校管弦楽部
  - 只見町立只見中学校
  - 福島県立郡山商業高等学校管弦楽部
  - 福島県立湯本高等学校吹奏楽部
- イ 優秀教職員の部(23名)
 

福島市立福島第三小学校	教 諭	君島慎一朗
伊達市立梁川小学校	教 諭	松原美和子
二本松市立大平小学校	養護教諭	塩田 咲江
本宮市立和田小学校	教 諭	浜津とも恵
郡山市立日和田小学校	教 諭	白岩 佳世
白河市立白河第一小学校	教 諭	大竹 晃司
須賀川市立第三小学校	教 諭	佐藤亜里沙
平田村立小平小学校	教 諭	渡邊 拓
田村市立船引小学校	教 諭	白岩 聡子
西郷村立熊倉小学校	主 査	尾又 芳行
西郷村立小田倉小学校	教 諭	鈴木美沙歩
喜多方市立第一小学校	養護教諭	長谷川めぐみ
喜多方市立高郷小学校	教 諭	豊野 創平
只見町立只見小学校	教 諭	長澤 秀弥
南相馬市立鹿島小学校	主 査	反畑 香理
会津美里町立本郷中学校	教 諭	真壁 伸介
只見町立只見中学校	教 諭	目黒 英樹
いわき市立湯本第一中学校	教 諭	澤出小百合
郡山市立西田学園義務教育学校	教 諭	遊佐 智則
福島県立福島南高等学校	教 諭	高橋真由美
福島県立只見高等学校	教 諭	阿部 智義
福島県立磐城農業高等学校	主任実習講師	阿部 和宏
福島県立大笹生支援学校	教 諭	江田 綾
- ウ 若手教職員奨励の部(2名)
 

福島市立清水中学校	教 諭	平 千絵
福島県立会津学鳳高等学校	教 諭	上田 彩
- エ 優秀教職員(団体)の部(2団体)
 

小野町立小野中学校教職員		
只見町立只見中学校教職員		

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰(6名)

- |                |       |
|----------------|-------|
| 福島県教育委員会委員     | 蜂須賀禮子 |
| (前)桑折町教育委員会委員  | 大波 敏子 |
| (前)矢吹町教育委員会教育長 | 栗林 正樹 |
| 泉崎村教育委員会委員     | 山田 睦子 |
| (前)昭和村教育委員会教育長 | 本名 幸平 |
| (前)浪江町教育委員会教育長 | 畠山熙一郎 |

(2) 教育者表彰(3名)

- |               |       |
|---------------|-------|
| 白河市立白河第一小学校長  | 菊池 篤志 |
| 石川郡石川町立石川中学校長 | 塩田 正信 |
| 福島県立安積高等学校長   | 小島 稔  |

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 令和2年春の叙勲

- ア 瑞宝小綬章
 

栗村 知(教育功労)	元福島県立福島工業高等学校長
佐治 和則(教育功労)	元福島県立安積黎明高等学校長
- イ 瑞宝双光章
 

二瓶 哲(教育功労)	元福島市立福島第二小学校長
湯田 健一(教育功労)	元桑折町立醸芳中学校長
村上 光一(教育功労)	元郡山市立橘小学校長
川上 闊男(教育功労)	元会津若松市立第一中学校長
渋佐 常範(教育功労)	元相馬市立中村第一中学校長
武内 敏英(教育功労)	元大熊町立大熊中学校長

(2) 令和2年秋の叙勲

- ア 瑞宝小綬章
 

鈴木 仁(教育功労)	元福島県立安積高等学校長
畠山熙一郎(教育功労)	元福島県立磐城桜が丘高等学校長
- イ 瑞宝双光章
 

富岡ケイ子(教育功労)	元玉川村立玉川第一小学校長
村越 秀樹(教育功労)	元郡山市立郡山第一中学校長
高原孝一郎(教育功労)	元須賀川市立第一中学校長
太田 雅信(教育功労)	元白河市立白河第一小学校長
奥貫 洋(教育功労)	元棚倉町立棚倉小学校長
渡部 裕二(教育功労)	元会津若松市立第四中学校長

(3) 高齢者叙勲(令和2年4月1日~令和3年3月1日発令)

- ア 瑞宝小綬章(教育功労)
 

古関 齊	(元福島県立船引高等学校長)
鈴木 章司	(元福島県立遠野高等学校長)
菅野 祐一	(元福島県立安達高等学校長)
森合 哲夫	(元福島県立平養護学校長)
- イ 瑞宝双光章(教育功労)
 

今野 武	(元相馬市立飯豊小学校長)
本田 勇	(元浪江町立大堀小学校長)
堀金 軍治	(元田島町立荒海小学校長)
高橋 善孝	(元川俣町立小島小学校長)
松浦 國男	(元二本松市立平石小学校長)
古山 一郎	(元いわき市立錦小学校長)
野木 三男	(元富岡町立富岡第二小学校長)

松崎 好延 (元高郷村立高郷第一小学校長)  
佐藤 學 (元新鶴村立新鶴小学校長)  
藤田 好一 (元中島村立滑津小学校長)  
室井 恒男 (元下郷町立下郷中学校長)  
佐藤 村夫 (元三島町立宮下小学校長)  
木本 清 (元大玉村立玉井小学校長)  
上川 順一 (元いわき市立久之浜第一小学校長)  
鎌田 東郎 (元小高町立福浦小学校長)  
山本 道雄 (元新地町立尚英中学校長)  
佐藤 守男 (元田島町立檜沢小学校長)  
永井 俊博 (元桑折町立醸芳小学校長)  
野木 忠 (元いわき市立泉小学校長)  
星 利弘 (元田島町立田島第二小学校長)  
菊地 勝雄 (元矢吹町立矢吹中学校長)  
齋藤 公郎 (元いわき市立勿来第一中学校長)  
花見 詮 (元会津若松市立第四中学校長)  
荒川 幸一 (元いわき市立小玉小学校長)  
鈴木 啓司 (元西郷村立羽太小学校長)  
猪狩 貞一 (元いわき市立内郷第一中学校長)  
増淵 弘志 (元表郷村立表郷小学校長)  
渡邊 和郎 (元岩代町立小浜中学校長)  
日塔 孝雄 (元いわき市立小名浜第二中学校長)  
門馬 孝義 (元小高町立小高中学校長)  
小沼 利久 (元郡山市立赤木小学校長)  
遠藤 修三 (元伊達町立伊達中学校長)  
小泉 泰次 (元浪江町立浪江小学校長)  
深谷 恒夫 (元玉川村立須釜小学校長)  
鈴木 英夫 (元石川町立石川小学校長)  
木戸 勇 (元伊達町立伊達東小学校長)  
長谷川浩一 (元柳津町立柳津小学校長)  
中目 貞夫 (元大越町立大越中学校長)  
伊藤 二雄 (元郡山市立御代田小学校長)  
廣田 正 (元いわき市立江名小学校長)  
笠間三男也 (元熱塩加納村立会北中学校長)  
伏見 裕方 (元鹿島町立鹿島小学校長)  
鴨田 喜夫 (元福島市立清明小学校長)  
長島 延夫 (元いわき市立玉川中学校長)  
渡邊 和夫 (元福島市立大島中学校長)

#### (4) 死亡叙位・叙勲

《令和2年度》

##### ア 従五位・瑞宝小綬章

中川 快然 (元福島県立富岡養護学校長)  
荒井 勝彦 (元福島県立清陵情報高等学校長)  
石田 威 (元福島県立川俣高等学校長)

##### イ 従五位・瑞宝双光章

高橋 卓夫 (元伊達市立梁川中学校長)  
大山 郁 (元西郷村立熊倉小学校長)  
藤田 廣彦 (元矢吹町立矢吹小学校長)

##### ウ 従五位

高橋 薫 (元福島県立福島西女子高等学校長)  
大河原博美 (元福島県立長沼高等学校長)  
川上 良男 (元猪苗代町立猪苗代中学校長)  
鈴木 仁 (元会津若松市立第五中学校長)  
粕壁隆二郎 (元福島県立白河実業高等学校長)  
渡邊 專一 (元福島県立安積高等学校長)  
真部 健雄 (元福島県立会津女子高等学校長)

##### エ 正六位・瑞宝双光章

井上 忠夫 (元いわき市立江名小学校長)  
荒川 吉弘 (元いわき市立小川小学校長)  
島貫 昭男 (元二本松市立鈴石小学校長)  
福原 靖史 (元郡山市立根木屋小学校長)  
松本 哲夫 (元いわき市立入遠野中学校長)  
島腹 順一 (元梁川町立梁川小学校長)  
高橋 士郎 (元鹿島町立鹿島小学校長)  
後藤 幸雄 (元福島市立大森小学校長)  
鈴木 幹男 (元棚倉町立棚倉中学校長)  
小野 恭二 (元会津坂下町立川西小学校長)  
菅野 邦雄 (元古殿町立古殿中学校長)  
芳賀 弘一 (元南会津町立田島小学校長)  
大野 武男 (元郡山市立開成小学校長)  
青田 忠文 (元富岡町立富岡第二中学校長)  
佐藤 好正 (元いわき市立平第二中学校長)  
中川 雄司 (元いわき市立小名浜第一小学校長)  
木幡 清明 (元南相馬市立原町第二小学校長)  
添田 和子 (元福島市立清明小学校長)  
古川 仁志 (元喜多方市立第一中学校長)  
山野辺庄吉 (元須賀川市立須賀川第一小学校長)  
伏見 幸弘 (元福島市立荒井小学校長)

##### オ 正六位

野口 五郎 (元大信村立大信中学校長)  
本田 勇 (元浪江町立大堀小学校長)  
大和金三郎 (元国見町立森江野小学校長)  
安原 滋 (元福島県立安積高等学校長)  
國分 幸男 (元二本松市立二本松南小学校長)  
坂本 迪郎 (元白河市立白河第一小学校長)  
渡邊 仁也 (元いわき市立好間第一小学校長)  
本田雄一郎 (元福島市立飯坂小学校長)  
菅野 家作 (元二本松市立二本松北小学校長)  
永井 俊博 (元桑折町立醸芳小学校長)  
松崎 好延 (元高郷村立高郷第一小学校長)  
菅野 寅人 (元小高町立小高中学校長)  
古川 忠雄 (元岩瀬村立白江小学校長)  
小針 信喜 (元西郷村立西郷第一中学校長)  
関 新 (元南郷村立南郷第一小学校長)  
眞壁 正 (元会津坂下町立広瀬小学校長)  
津田 俊晴 (元福島県立会津高等学校長)  
大木 友義 (元矢吹町立三神小学校長)  
増子 淳 (元滝根町立広瀬小学校長)

鈴木俊三郎（元石川町立石川小学校長）  
 齋藤 豊一（元西会津町立西会津中学校長）  
 知々田徳衛（元会津坂下町立広瀬小学校長）  
 松本 春帆（元白河市立白河第二中学校長）  
 佐藤 恵（元福島市立森合小学校長）  
 皆川 郁夫（元福島県立福島東高等学校長）

カ 従六位・瑞宝双光章

小林 俊夫（元白河市立関辺小学校長）  
 松本 孔一（元小高町立福浦小学校長）  
 紺野 幸（元原町市立原町第一小学校長）  
 白石 允宏（元福島市立福島第一小学校長）  
 山口 一成（元田島町立田島中学校長）  
 千葉 保夫（元いわき市立好間中学校長）  
 外島 道雄（元会津美里町立本郷中学校長）  
 片野 昭彦（元いわき市立小名浜東小学校長）  
 高宮 政博（元浅川町立浅川小学校長）  
 田村 尚（元いわき市立小名浜第一小学校長）

キ 従六位

古川 登（元会津若松市立城北小学校長）  
 村上 武（元福島市立北沢又小学校長）  
 草野 美憲（元檜葉町立檜葉北小学校長）  
 鈴木 實（元いわき市立豊間小学校長）  
 大内 好藏（元いわき市立好間第一小学校長）  
 遠藤 秋男（元二本松市立二本松北小学校長）  
 佐藤 寛（元福島市立福島第四中学校長）  
 永山 忠雄（元いわき市立磐崎小学校長）  
 佐々木 廣（元船引町立瀬川中学校長）  
 荒川 幸一（元いわき市立小玉小学校長）  
 鈴木 健一（元福島市立福島第四小学校長）  
 北村 光男（元白河市立白河中央中学校長）

ク 正七位

秋山 茂（元いわき市立平第三中学校長）

## 第13節 奨学育英

### 1 福島県奨学資金

#### (1) 貸与金額

区 分	貸 与 月 額	
高等学校	国公立	自宅 18,000 円 自宅外 23,000 円
	私 立	自宅 30,000 円 自宅外 35,000 円
	高等専門学校	18,000 円
	大 学	国公立 35,000 円 私 立 40,000 円
入学一時金 (H25～)	(一括貸与) 500,000 円	

#### (2) 令和2年度の貸与状況

##### ア 募集期間

###### (7) 在学採用

令和2年4月入学以降～6月30日

###### (4) 震災特例採用

令和2年5月1日～7月31日

##### イ 奨学生決定

###### (7) 在学採用

令和2年8月6日（高等学校）

令和2年8月6日（大学・高等専門学校）

###### (4) 震災特例採用

令和2年9月9日

##### ウ 貸与状況

区 分	継続貸与	新規貸与		計
		応募者	貸与者	
高等学校 (うち震災特例)	259人 (144人)	126人 (70人)	121人 (70人)	380人 (214人)
大 学 高等専門学校	231人	54人	45人	276人
大学等 入学一時金	—	53人	47人	47人
計	490人	233人	213人	703人

## 2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程 修学資金貸与制度

#### (1) 貸与月額

##### 定時制課程

1～4学年 14,000 円

##### 通信制課程

1～4学年 14,000 円

#### (2) 令和2年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	0 人	0 人	0 人
2 年 生	0 人	0 人	0 人
3 年 生	2 人	0 人	2 人
4 年 生	1 人	1 人	2 人
計	3 人	1 人	4 人

